



山田こうじです！

2016年京都市予算議会の論戦はじまる

京都市長選挙を終え、現市町3期目の予算案が発表されました。

京都市は、公共施設の統廃合や集約化等、国の「地方創生総合戦略」を率先して推進しています。自治体の公的責任を投げ捨て、市民生活破壊の予算となっています。

一方、市長選挙で争点となった今年9月からの敬老乗車証制度の利益負担導入は見送られることになりました。また「保育所待機児解消」対策として、23億円が予算措置されました。1歳児保育における保育体制の拡充及び保育士配置体制の充実および保育人材確保事業が予算化されました。市長選挙での成果です。

しかし、高すぎる国民健康保険料の引き下げには背を向け、保険料率を据え置いたうえ、最高限度額を引き上げることになっています。

子供の医療費助成も府下最低レベルのままです。市立保育所の2か所が廃止になり、住民合意のないまま、京北地域の小

中一貫校整備や二条城の駐車場整備が予算化され、景観破壊の大型開発がすすめられようとしています。

不況で苦しんでいます。ところが、中小企業向け融資の預託金は大幅減額され、中小企業振興基金本条例の制定や、公契約基本条例への賃金規定の制定はされていません。

「徹底した財政構造改革を推進」すると、一層の職員削減と住民サービスの切り捨てで公的責任を投げ捨てる事業見直しです。

「お祝いの会」には孫、ひ孫あわせて、13人が揃いお祝いできたことは幸いです。

5野党党首 国政での選挙協力で合意

戦争法廃止、立憲主義の回復

日本国憲法に真っ向から背く戦争法の強行成立から5カ月となった2月19日、日本共産党の志位和夫委員長、民主党の岡田克也代表、維新の党の松野頼久代表、社民党の吉田忠智党

首、生活の党の小沢一郎代表の野党5党首が国会で会談し、「安保法制の廃止」

の青年学生や、「学者の会」、「だれのこどもも殺させない」との運動がとまることなく、草の根の「戦争廃止」を求め市民の運動の力が動かしただけの結果です。



党首会談での確認事項

- ① 安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通目標とする。
- ② 安倍政権の打倒をめざす。
- ③ 国政選挙で現与党およびその補完勢力を少数に追い込む。
- ④ 国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う。

まいとおおき

「お祝い」です！

NO.134

私の父は今年、88歳になり「米寿」の祝いを！

終戦を17歳で迎え戦後復興から、わたしたち、子どもを育ててきた苦労は大変なものだったと思います。「お祝いの会」には孫、ひ孫あわせて、13人が揃いお祝いできたことは幸いです。

孫たちに、戦時中に苦労した話を真剣に語ってくれました。戦争体験者の言葉は重いと長寿が祝える社会にと決意新たに！

